昭和九年度直轄工事年報

總論

第一治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ著手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ專ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十

三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲慘事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スル事トナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得同四十四年度ヨリ該計畫通リ事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメントスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川

利根川　信濃川　木曾川　淀　川　九頭龍川
吉野川　庄　川　高梁川　遠賀川　北上川
雄物川　荒　川　阿賀野川　富士川　最上川
神通川　岩木川　加古川　綾　川　斐伊川
（以上二十河川）

第二期河川

天龍川　阿武隈川　筑後川　那珂川　庄内川
中　川　手取川　矢作川　大和川　吉井川
馬淵川　紀ノ川　大淀川　由良川　多摩川
關　川　米代川　鳴瀬川　久慈川　菊池川
鄕　川　旭　川　渡　川　蘆田川　川内川
相坂川　千代川　鶴見川　大野川　球磨川
相模川　肱　川　矢部川　狩野川　圓山川
肝屬川　太田川（靜岡）　豐　川　白　川　大分川

酒匂川　鈴鹿川　太田川(廣島)　名取川　仁淀川

(以上四十五河川)

右ノ内第一期河川ハ大正十七年度迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間内ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ著手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ベノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノ事ニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未著手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、產業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二臨時治水調査會ニ於テ愼重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度內ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之レガ決定ヲ見タルモノ卽チ左記河川是ナリ

鬼怒　川(利根川支川)　小貝　川(利根川支川)　信濃川上流(新潟縣下)　犀　川(信濃川支川)
野洲　川(淀川支川)　木津　川(淀川支川)　北上川上流　雄物川上流
最上川上流　天龍川　阿武隈川　筑後川
那珂川　庄內川　手取川　矢作川
大和川　吉井川　馬淵川　紀ノ川

大淀川　由良川　關川　米代川
久慈川　旭川　渡川　蘆田川
川内川　千代川　鶴見川　大野川
栢模川　肱川　狩野川　肝屬川
豐川　白川　大分川　酒匂川
鈴鹿川　太田川（廣島）　名取川　仁淀川
新宮川　安倍川　菊川　大井川
北川　常願寺川　小矢部川　黑部川
天神川　日野川　佐波川　那賀川
土器川

（以上五十七河川）

右ノ內帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川內及太田（靜岡）、安倍、多摩上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ鋭意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其改修區域ハ利害ノ關係極テ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニアラザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ內務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴

瀬兩川改修費ヘ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ大正七年度ヨリ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其事業ヲ直接施行スルコトトナリ尚翌八年度ヨリハ太田川(靜岡)、阿賀阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ同十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大洪水ニ鑑ミ更ニ增補工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ亙ル工事ノ進捗ヲ遲延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施工ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ八年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十萬五千三百圓(內地方負擔二十五萬圓)ヲ繰上ゲ施行ノコトトナレリ

昭和八年ノ土木會議ニ於テ第三次治水計畫ヲ樹立セリ卽チ明治四十三年ノ臨時治水調査會ノ決議ニ依ル豫定方針ニ從ヘバ今後八箇年度內ニ四十一箇川ノ改修ヲ行ハザルベカラザルガ國庫ノ財政ハ是等多數ノ河川ヲ此短期間ニ改修スルコト到底困難ナリト認メラルルヲ以テ緊急改修ヲ要スル左記河川ニ付テハ今後十箇年度內ニ着工シ同十五箇年度內ニ完成シ其他ノ河川ハ之ニ續テ著工スルヲ適當ト認メラル

北上川上流　米代川　雄物川上流　阿武隈川下流

久慈川　入間川　鶴見川　相模川
黒部川　常願寺川　小矢部川　手取川
豊川　庄内川　新宮川　由良川
天神川　吉井川　郷川　菊池川
白川　球磨川　大分川　肝属川

（以上二十四河川）

此以外ノ河川ニ付テモ今後河川ノ變化ニ依リ水害著シク增大シテ速ニ改修工事施行ノ要アル場合ニ於テハ直ニ追加シテ工事ニ著手スルモノトシ又國ノ直轄改修ヲ待タズ府縣ニ於テ改良工事ニ著手スル場合ハ別途中小河川改修ノ例ニ倣ヒ國庫ニ於テ助成スルモノトス

又現ニ改修工事ノ一部ニ著手シタル左記河川ハ今後繼續施工シ其完成ヲ期スルモノニシテ木曾川下流ハ既ニ一應改修濟ナルモ現在堤防ヲ以テハ其安全ヲ期シ難キヲ以テ成ルベク速ニ其ノ增補工事ヲ行フモノトス

最上川上流　小貝川　鳥川（神流川ヲ含ム）　菊川
矢作川　大和川

砂防ニ就テハ既定計畫ニ基キ鋭意遂行シ來リタルモ尙利害ノ關係重大ニシテ工事困難ナル左記十九河川ヲ國ノ直轄トシ今後十箇年度內ニ著工シ同十五箇年度內ニ完成スルモノトス

最上川支流立谷澤川　同　銅山川　阿武隈川支流荒川
鬼怒川　渡良瀬川　相模川

信濃川支流清津川　黒部川　富士川水系

信濃川水系　天龍川水系　庄内川支流土岐川

木曾川支流中津川(落合川ヲ含ム)　安倍川　大井川

野洲川　淀川支流大戸川　新宮川支流十津川

蘆田川

第一期河川ノ内本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ筑後川、淀川(増補工事トモ)木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川(利根川支川)、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期(江戸川、中川ヲ含ム)荒川下流、阿賀野川、多摩川ノ十三流域ニシテ工事中ノモノハ荒川上流、北上川、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、千曲川(信濃川上流)、加古川、神通川、岩木川、太田川(靜岡)、阿賀阿武隈兩川、圓山川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流(新潟縣下)、天龍川、千代川、蘆田川、紀ノ川、筑後川新工事、綠川、北川、旭川、鬼怒川(利根川支川)、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川(淀川支川)、川内川、太田川(廣島)、安倍川、多摩川上流、最上川上流、矢作川、淀川低水、小貝川、菊川、烏神流川ト新ニ手取川、小矢部川、天神川ノ三箇川ヲ加ヘタル四十四工事ナリ而シテ右ノ內附屬物及水路維持工事トシテ實施中ノモノハ木曾川、淀川、利根渡良瀬兩川、信濃川、荒川、多摩川、北上川ノ八河川ナリ又各河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣成シタルハ吉野川及野洲川(淀川支川)、神通川、桂川(淀川支川)ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川流域(瀨田川)、富士川、信濃川水系(千曲川)、鬼怒川(利根川支川)、常願寺川、手取川、揖斐川(舊木曾川支川)、木津川(淀川支川)、神通川ノ九河川ナリ此內淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲スモノニシテ千曲川モ同七年度ヲ以テ竣成ノ豫定ナリシガ是亦千曲川及支川犀川ニ於ケル荒廢溪流ニ對シ施工ノ

要アルヲ以テ信濃川水系ト改稱シ七、八兩年度ニ追加工事ヲ爲スモノナリトス

第二　港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ時運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益重要ヲ加ヘタレバ明治三十三年六月勅令第二百六十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絕シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ內務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ卽チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ橫濱、神戶、關門海峽（下關、門司）、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣內ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川（土崎ヲ含ム）、靑森、仙臺灣內ノ一港（明治四十三年五月伊勢灣內ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣內ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス）ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月淸水、那覇ノ兩港ヲ同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶、宮古、大分、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ、同八年一月和歌山、廣島ノ兩港ヲ、同十年二月八戶、飾磨、宇部ノ三港ヲ追加シ三十六港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ四十一港トナレリ而シテ大正七年十月閣議ニ於テハ港灣ノ經營ヲ內務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣工セシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ

必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シ昭和七年度ヲ以テ竣功ヲ告ゲタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ起工シ又神戸港防波堤築造工事、同港修築工事、門司港修築工事、横濱港維持工事ハ大正八年度ヨリ起工シ下關港ハ同十年度ヨリ起工セシガ上記ノ内神戸港防波堤築造工事、横濱港維持工事ハ同十年度ヨリ内務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ其工費ノ二分ノ一ヲ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ、新潟港ハ同三分ノ一ヲ補助セラレ同六年度ヨリ起工(市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承)シ、長崎港ハ工費二分ノ一ヲ補助セラレ同九年度ヨリ起工シ、清水港モ同率ノ補助ニ依リ同十年度ヨリ起工シ、高松、境ノ兩港亦工費二分ノ一ヲ補助セラレ同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市施工ノ後ヲ承ケ同十二年度ヨリ工費二分ノ一ヲ補助セラレテ續工シ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戸、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦大體同一ノ補助率ニ依リ國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右ノ港灣工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ

昭和八年度ニ於テハ既定修築費ノ一割ヲ節約、實行豫算トシ其既定工事ヲ施行スルノ外産業振興事業トシテ横濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上ゲ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進セントス其繰上總額百三十五萬圓(内地方負擔五十六萬圓)ナリ尚關門海峽及神戸港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ産業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトナリ尚重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中昭和七年度ヨリ改良工事ニ著手シタルモノハ大分港、三角港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又青森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫ヨリ約二分ノ一ヲ補助セラレ是亦同年度ヨリ起工ノコトトナリ酒田、和歌山、廣島ノ三港

ハ時局匡救事業トシテ八年度ヨリ二箇年度ノ豫定ヲ以テ施工スルコトトナレリ

港灣工事中本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港第一期及第二期、新潟港、長崎港、高松港、下關港、門司港、境港、鹽釜港、今治港ノ十工事ニシテ尚工事中ノモノハ關門海峽、神戸港、横濱港、清水港、小松島港、鹿兒島港、伏木港、土崎港、小名濱港、宮古港、浦戸港、七尾港、尾道港、舞鶴港、博多港、青森港第二期、宇野港、三角港、大分港、細島港、若松港、廣島港、和歌山港、酒田港ノ二十四港灣ナリトス

第三　復舊、補修及應急事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀬川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ横濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ横濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ横濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀬川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尚昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀬兩川維持工事ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處本年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行スルコトトナリ又信濃川大河

津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ピーヤ」陷沒ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度內ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ利根渡良瀨兩川築堤其他震災復舊工事モ同七年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ而シテ第二期川タル大和川ハ地辷ノ爲メ河幅ノ狹窄、河床ノ隆起ヲ招キ、流水ノ閉塞ヲ來シ之ガ復舊ニ努メタリシモ地辷運動ノ終息ヲ見ルニ至ラズ洪水防禦上完全ヲ期スルガ爲メ八年度ヨリ二箇年度間ニ應急工事施行ノコトトナレリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事及大和川應急工事ト新ニ着工ノ桂川災害復舊工事ナリトス

第四　國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ亙ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之レガ爲メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之ニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定サレタルモノナリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ擧グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川、港灣等アレドモ焦眉ノ急トシテ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ昭和六年度ニ於テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ本工事ハ三府二十九縣十八路線ニ亙レル廣汎ナル範圍ニシテ總

工事費豫算一千七百五十萬圓（工事費一千六百六十六萬七千圓、事務費十三萬三千圓）ヲ要シ其內五百五十萬圓ヲ地方ノ負擔トス而シテ各土木出張所ニ於テ其分掌區域ニ依リ分割施工シ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限リ完了スルヲ目途トシテ著手シタルモノニシテ其工事ニ使役サルル勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ其延人員五百八十三萬三千人ヲ豫定シ失業緩和ニ資シタリシモ同年度內ニ竣成ヲ見タルモノハ五號線ノ曾根田橋改築（福島）及國道二十六號線改修（沖繩）ノミニシテ他ノ四十七箇所ハ其工事ヲ了シタルモ一部ノ殘工事又ハ施工地ノ跡整理等未了ノ爲メ遺憾乍ラ工費ノ殘額ヲ次年度ヘ繰越シタリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尙各種事業ノ萎微不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算四、五兩箇月分二百九十一萬六千六百六十八圓ヲ政府直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ內九十二萬六千六百六十七圓ヲ關係府縣ニ分擔セシメ前年度ト同樣失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現狀ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救濟トニ力ムルノ方針ヲ採リ新ニ產業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セラルヽ道路改良ノ急ニ應ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ卽チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期ニ亙ルノミナラズ國庫補助政策ノミヲ以テシテハ充分ナラザルノ嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ亙ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ至レリ

右計畫ノ下ニ第六十二回帝國議會ニ總額一千八百二十五萬九千七百九十九圓ノ追加豫算ヲ提出シテ其

ノ協賛ヲ得内一千二百六十二萬六千四百六十六圓ヲ以テ國道ヲ改良シ内三百七十九萬二千五百圓ハ關係府縣ニ分擔セシメ前述失業救濟國道改良費豫算ト合セ北海道、秋田、山形、福島、福井、鳥取、島根、德島、香川、愛媛、高知、宮崎、沖繩ヲ除ク三府三十一縣下ニ於テ一號、二號、三號、四號、六號、七號、八號、九號、十號、十一號、十二號、十四號、十五號、十六號、十七號、二十五號、二十六號、三十二號ノ十八路線六十四箇所ヲ施行スルコトトシタリ然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開スル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回臨時議會ノ協賛ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル道路工事ヲ起興スルガ爲メ國道改良費百十四萬五千圓(事務費二萬五千圓ヲ含ム)ヲ計上シ内三十三萬三千三百三十三圓ハ關係府縣ニ負擔セシメ東京、埼玉、長野、青森、秋田、石川、富山ノ一府六縣下ニ於テ四號、五號、八號九號、十一號ノ五路線七箇所ノ國道改良工事ヲ施行スルコトトシ内埼玉、長野、秋田、三縣下ノ工事ヲ除クノ外ハ既定產業振興國道改良事業ト併セ工事ヲ施行スルコトトシタリ

而シテ八年度以降ニ於テモ亦財界ノ不況依然トシテ去ラズ都市ニ於テハ多數ノ失業者ヲ見又農村ノ疲弊尙癒エズ中小商工業者ノ窮狀緩和サルルニ至ラザルヲ以テ八年度ニ在テハ前年度ニ於テ執行シタルト同樣ノ道路工事ヲ起興シテ所謂非常時局ヲ匡救スルノ必要アリ仍テ前記道路改良五箇年度計畫ノ趣旨ニ則リ政府自ラ國道改良工事ヲ施行セシガ本年度ニ於テモ前記ノ狀態ヲ持續セルヲ以テ改良工事ヲ續行スルノ外農村ノ疲弊救濟ノ趣旨ヲ以テ應急工事ヲモ施行スルモノトス

以上述ベタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線、箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ東京、横濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸及下關ノ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトトシタリ各工事ノ狀況

ニ付テハ第六章ニ於テ表示スルガ如クニシテ其列擧ニ就テハ豫算面ニ基キ前年度ノ繰越ニ係ルモノト本年度起工ノ時局匡救ト農村其他應急工事トニ夫々分割シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ供シタリ

第五　本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行セルハ河川改修四十四、河川附屬物及水路維持七、砂防九、港灣改良二十五、復舊及應急三、國道改良九十七、合計百八十五工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其任ニ當レリ而シテ是等ノ總工費豫算額ハ河川改修工事費三億百九十萬二千九百六十一圓、河川附屬物及水路維持工事費一千三百九十九萬四百六十八圓、砂防工事費九百九十三萬一千三百六十九圓、港灣改良工事費一億二千二百七十七萬五千二百九十八圓、復舊及應急工事費五百五十七萬九千六百五十七圓、國道改良工事費二千二百九十萬九千五百圓、合計四億七千七百八萬九千二百五十三圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功額ヲ累算スレバ三億三千五百七十六萬七千六百十二圓ニ達シ其內本年度ノ竣功ニ屬スルモノハ三千四百九十五萬一千二百六圓ナリトス尙又本年度末竣功歩合ハ河川改修工事費ハ其總工費ノ六割一分ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同六割八分、砂防工事費ハ同七割七分、港灣改良工事費ハ同八割二分、復舊及應急工事費ハ同八割九分、國道改良工事費ハ九割ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同六割九分ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル各工事ノ累算額ハ二億五千百二十五萬五千七百四十九圓ニシテ之ヲ前記ノ竣功額ニ合算スレバ實ニ五億八千七百有餘萬圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス

今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前年報ニ比シ差違アルハ工事費豫算

ヲ改訂セルモノアルト竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタル等ニ因ル表中工事名欄國道改良工事中ノ「八時匡」ハ八年度時局匡救ノ繰越事業、單ニ「時匡」トアルハ本年度ノ時局匡救事業、「農急」ハ本年度ノ農村其他應急工事ヲ示シ竣功高欄「◎」ハ縣若クハ市負擔額「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ寄附又ハ提供材料竝勞力費「◉」ハ千住機械工場委託製作品價額「○」ハ河川費支出額「×」ハ土木出張所流用減額「●」ハ依託工事費「■」ハ軌道會社負擔額ヲ示シ殘高欄「△」ハ超過額ヲ示ス（竣功高ニシテ豫算額ヨリ超過セルモノアルハ他ヨリ流用シタルモノ等アルニ因ル）

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功 前年度迄竣功高	竣功 本年度竣功高	竣功 合計	殘額	竣功歩合
河川改修工事							
荒川上流改修工事	東京	円 二、〇三八、三八二	円 一、九〇五、八八二	円 五六八、三〇六	円 一、九七二、一八八	円 一、三一、九四	割分 〇・九四
北上川改修工事	仙臺	一四、三七、〇九九	五一、三一一 一〇九、〇一四	三一、九六二	五一、三五三 七八、九七六	一四、三七一、五三五	〇・七
最上川改修工事	新潟	一三、四五九、〇四四	一、四一七、六〇五 一、九一八、七三四	二七九、八一四	一、六九七、〇四四 一、九一七、七八一	一、六一、三九	〇・八七
江合、鳴瀬兩川改修工事	仙臺	八、二九七、〇一八	六、三八四、二六一 四、二三一、〇二四	五三三、一〇六	六、九一七、三六七	一、二九、九二	〇・八三
雄物川改修工事	仙臺	七、六四四、〇七八	五、〇八〇、九五二	三九三、一三五	五、四七四、〇八八	一、二九、一九二	〇・八三
千曲川改修工事	新潟	一一、〇〇三、五一〇	一、四〇三、五八一 一、四〇三、五八一	四三三、一三四 五、八一三	九、六五五、九四四 一、四〇三、五八一	一、四四一、八五〇	〇・八六
加古川改修工事	大阪	、八二四、三五五	、九九六、六二四	二九一、一五五九 四七、九五六	、二八八、七八〇	六、四三一、二九二	〇・八三
神通川改修工事	新潟	八、二九五、二八四	五、三五八、二〇三 三、七一五、五七七	二九二、一四〇	七、八六四、四一九 一九、九五三	一、三五、八五五	〇・九四
岩木川改修工事	仙臺	九、三五、三〇二	五、八四四、一八七	二五五、一四〇	六、一〇九、三二七	三、二六、〇九九	〇・九五
太田川（靜岡）改修工事	名古屋	四、五一、九四〇一	二、一一八、〇二	一一、九〇二	二、一三〇、五七二	二、三七一、四二九	〇・八九
阿賀川及阿武隈川改修工事	仙臺	二、六八、四九六	九、九六〇、六六二	五五八、一四四	一〇、五一八、七〇六	八、四〇八 △	一・〇〇
						二、二六、〇九九	〇・八三

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
河川改修工事							
圓山川改修工事	大阪	七、一七一、七七一	□	□	□	一、四〇七、一四二	〇・八五
富士川改修工事	東京	一、二五〇、七一二	□	□	□	一、二六〇、九三三	〇・七九
木曾川上流改修工事	名古屋	一〇、一〇一、九〇三	□	□	□	三、九九九、一一五	〇・八〇
斐伊川改修工事	大阪	五、九七八、八一八	□	□	□	一、八一四、三五二	〇・六八
信濃川上流改修工事	新潟	五、三七七、〇七八	◎□	◎□	◎□	一、五〇八、九三九	〇・七二
天龍川改修工事	名古屋	五、二九五、四八二	□	□	□	一、九一三、五四九	〇・六四
千代川改修工事	大阪	五、三八八、七三三	□	□	□	一、三一三、一九九	〇・七五
蘆田川改修工事	大阪	四、六三六、三一五	□	□	□	一、二〇二、一三五	〇・七四
紀ノ川改修工事	大阪	三、八三四、二五一	□	□	□	一、〇四二、二九五	〇・七三
筑後川改修工事	下關	九、一三五、六六二	□	□	□	二、三四九、九三五	〇・六二
綠川改修工事	下關	三、三一二、三五五	□	□	□	一、九一三、五四九	〇・六四
北川改修工事	名古屋	一、九〇九、一一一	□	□	□	一、一七一、一三九	〇・七一
旭川改修工事	大阪	一二、三二六、八四五	▲	▲	▲	三、九四一、一七七	〇・三一
鬼怒川改修工事	東京	一一、三九一、九〇四				九、九三五、〇三五	〇・三九
大淀川改修工事	下關	五、〇五一、一六〇	□	□	□	一、〇四七、一八二	〇・四〇
狩野川改修工事	横濱	四、九五六、九三五	□	□	□	一、二三七、一〇一	〇・二五
那賀川改修工事	神戸	四、六三五、五三五	□	□	□	一、二三五、九八九	〇・二一

| 修工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割
河川附屬物及水路維持工事							
木曾川附屬物及水路維持工事	名古屋	一、五七一、三五〇	一、三五三、五八四	四三、九五七	一、四〇七、五四一	一六三、八二九	〇・九〇
淀川附屬物及水路維持工事	大阪	二、一五八、〇四三	▲一、四〇七、三〇八	▲二一、九一七	一、四二九、二二五	五二八、八一三	〇・七五
利根、渡良瀬兩川維持工事	東京	五、一一一、一〇三	▲四、一九一、五二六	▲三三四、七八一	四、五二六、三〇七	五八四、八〇六	〇・八九
信濃川維持工事	新潟	一、三六三、一二九	九七三、九一七	四七一、八	一、〇二一、〇三五	三四二、〇九四	〇・七五
荒川維持工事	東京	一、九四五、八一三	▲三五九、四七四	▲九七、八七一	四五七、三四五	一、四八八、四七八	〇・二四
多摩川維持工事	東京	一、一〇〇、〇〇〇	▲二四五、八二六	▲一三、六六四	二五九、四九〇	八四五、一〇一	〇・二三
北上川維持工事	仙臺	七四一、〇〇〇	二〇、五二一	六〇、九八〇	八一、五〇一	六一九、五〇八	〇・一六
小計（七）	五	一三、九九〇、四六八	八、四七一、七二九	九四五、八九九	九、四一七、六二一	四、五七三、八四〇	〇・六八
砂防工事							
淀川流域（瀨田川）砂防工事	大阪	九七〇、〇〇五	▲八五九、七七八	▲三一、二二七	九二七、〇〇五	四三、〇〇〇	〇・九四
富士川流域砂防工事	東京	一、五八八、一三七	一、五三〇、六〇八	五一、四五六	一、五八二、〇六四	六、〇七三	〇・九九
信濃川水系砂防工事	新潟	九四七、三七一	▲八八九、五六四	▲二六、二二一	九一五、三四五	三二、〇二六	〇・九九
鬼怒川流域砂防工事	東京	八五五、二七一	七九九、七五〇	五五、〇四一	八五四、七九一	四、八〇	〇・九九
常願寺川流域砂防工事	新潟	二、二一〇、二五二	一、三五二、二五九	二四、二四九	一、三七六、二〇八	三三、九四四	〇・九八
手取川流域砂防工事	新潟	一、四九二、八九二	六二六、六二二	五四、七七四	六八一、四〇六	八一一、四八六	〇・四六
揖斐川流域砂防工事	名古屋	九六八、二七	四八八、六八二	六一、四三一	五五〇、一一四	四一八、一〇三	〇・五七
木津川流域砂防工事	大阪	三四九、一四四	三九、七五〇	四、三一〇	二七〇、〇八〇	七九、〇四四	〇・七七
神通川流域砂防工事	新潟	五四〇、〇〇〇	一四三、八一三	七四、一七九	二一〇、九五〇	三二九、〇五〇	〇・三九
小計（九）	四	九、九三一、三六九	六、九二一、四六七	七〇一、一五六	七、六三三、六二三	二、三〇七、七四六	〇・七七

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
港灣改良工事							
和歌山港修築工事	大阪	円 九五〇、〇〇〇	▲ 二四七、一八六 五、〇八九	▲ 三三三、三〇九	▲ 五八〇、四九五 五、〇八九	三六九、五〇五	測分 〇・六一
酒田港修築工事	新潟	六六〇、〇〇〇	二三七、〇二〇	三〇、〇二〇	五三九、〇三九	一二〇、〇二七	〇・八二
小計（二五）	六	一二、七七五、二九八	九、一七九、四七八	八、八八六、五七一	一〇〇、六八一、四九	三一、〇九三、二四九	〇・八二
復舊及應急工事							
相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事	東京	三、三五六、七五五	三、〇七九、三六九	九五、四一七	三、一七四、七九六	五八一、九六九	〇・八五
大和川應急工事	大阪	一、六三、八九二	一五九、三〇〇 五、一四四	九二、三五三 二、四六二	一、五八六、〇一一 四、九五三	三六、七八六	〇・九七
桂川災害復舊工事	大阪	一〇〇、〇〇一	一五、九四〇	一七、八四八	一七、八四八	二三、一五二	〇・八九
小計（三）	二	五、五七九、五五七	三、二五、九六二	一、一九八、六八	四、九三七、六六〇	六四一、九九七	〇・八九
國道							
國道一號線（藤澤改良工事（八時匡））	横濱	一〇〇、〇〇一	一六七、三五五	三一、七五五	二〇〇、〇〇一	一、〇〇	
國道一號線（藤澤改良工事（時匡））	横濱	七〇、〇〇一	—	六七、四八三	六七、四八三	二、五一七	〇・九六
國道一號線（藤澤改良工事（時匡））	横濱	八〇、〇〇一	—	一八、三五八	一八、三五八	六一、六四一	〇・三一
國道一號線（吾妻改良工事（八時匡））	横濱	二六七、〇〇一	二一九、二七	四七、七〇三	二六七、〇〇一	—	一・〇〇
國道一號線（國府津改良工事（時匡））	横濱	一七〇、〇〇一	—	一三、七五六	一三、七五六	三一、二〇五	〇・八一
國道一號線（國府津小田原改良工事（八時匡））	横濱	三四〇、〇〇一	二九九、五五八	三四、三四二	三四〇、〇〇一	—	一・〇〇
國道一號線（蒲原改良工事（八時匡））	横濱	三〇〇、〇〇一	二五八、一八五	四一、八一五	三〇〇、〇〇一	—	一・〇〇
國道一號線（蒲原改良工事（時匡））	横濱	二〇〇、〇〇一	—	一六、八四五九	一六、八四五九	三一、五四一	〇・八四
國道一號線（愛知改良工事（八時匡））	名古屋	三九〇、〇〇一	二二六、〇二	三九、六八七	三九〇、〇〇一	六八七	一・〇〇
國道一號線（愛知改良工事（時匡））	名古屋	一〇〇、〇〇一	—	九、七一三	九、七一三	九〇、二八七	〇・一〇
國道一號線（愛知改良工事（八時匡））	名古屋	三〇〇、〇〇一	三四、八二三 七、〇一〇	三九、四四八 四、〇五	三九、四四八 四、〇五	二五五	一・〇〇
國道一號線（愛知改良工事（時匡））	名古屋	◎	◎	◎	◎	一九、二七	〇・八

改良工事

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
國道四號線（福島改良工事（農急））	仙臺	二一〇、〇〇〇円	円	八九、九三三円	八九、九三三円	三〇、〇六八円	〇・七五
國道四號線（宮城）改良工事（八時匡）	仙臺	二四、〇〇〇	一二、五三五	五一、四五五	二四、〇〇〇		一・〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（時匡）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇		一・〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（農急）	仙臺	三五、〇〇〇		八、三三一	八、三三一	二六、六六九	〇・二九
國道四號線（岩手）改良工事（八時匡）	仙臺	二五〇、〇〇〇	一五〇、九四四	九九、〇五六	二五〇、〇〇〇		一・〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（農急）	仙臺	一四〇、〇〇〇		一〇、三三三	一〇、三三三	五〇、六六七	〇・六八
國道四號線（岩手）改良工事（時匡）	仙臺	一六八、〇〇〇		一四一、〇一〇	一四一、〇一〇	二三、九八九	〇・八六
國道四號線（青森）改良工事（農急）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		八五、一八三	八五、一八三	一四、八一七	〇・八五
國道五號線（福島）改良工事（八時匡）	仙臺	二〇〇、〇〇〇	一六六、六九八	三三、三〇二	二〇〇、〇〇〇		一・〇〇
國道五號線（福島）（八時匡）改良工事（時匡）	仙臺	一五八、〇〇〇		一五五、〇〇六	一五五、〇〇六	二、九九四	〇・八七
國道五號線（置賜）改良工事（農急）	新潟	一〇〇、〇〇〇		六四、三三四	六四、三三四	三五、六六六	〇・六四
國道五號線（秋田）改良工事（時匡）	仙臺	一四〇、〇〇〇		八九、一〇五	八九、一〇五	五〇、八九五	〇・六五
國道五號線（青森）改良工事（時匡）	仙臺	九四、〇〇〇		九四、〇〇〇	九四、〇〇〇		一・〇〇
國道六號線（金町）改良工事（八時匡）	東京	四三〇、〇〇〇	四三六、三五四	一八〇、五四三	一八〇、五四三	五三	一・〇〇
國道六號線（金町）改良工事（時匡）	東京	二四〇、〇〇〇		二四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	二九	一・〇〇
國道六號線（取手）改良工事（時匡）	東京	一〇〇、〇〇〇		八三、一三二	八三、一三二	一六、八六八	〇・八三
國道六號線（土浦）改良工事（八時匡）	東京	一二四、〇〇〇	一九一、七四二	一〇、二〇一	一〇、二〇一	二	一・〇〇
國道七號線（千葉）改良工事（八時匡）	東京	五〇〇、〇〇〇	四七六、七七七	二三、一〇四	二三、一〇四	一九	一・〇〇
國道七號線（千葉）改良工事（時匡）	東京	一〇〇、〇〇〇		一二、五二六	一二、五二六	二三、八八八	〇・八八
國道八號線（山梨）改良工事（農急）	東京	四〇、〇〇〇		一〇、六〇一	一〇、六〇一	四九、三九九	〇・一八

改良工事

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
國道改良工事							
國道十二號線（岐阜）改良工事（八時匡）	名古屋	一三〇、〇〇〇	一〇五、八四九	四四、〇八七	一四九、九三六	二四、一四	割分一〇〇
國道十三號線（福井）改良工事（時匡）	名古屋	二五〇、〇〇〇	二四四、八〇二	五、一五〇	二四九、九五二	四八	一・〇〇
國道十二號線（小松）改良工事（時匡）	新潟	一七五、〇〇〇		一四七、五二五	一四七、五二五	二七、四七五	〇・八四
國道十五號線（奈良）改良工事（八時匡）	大阪	三〇〇、〇〇〇	二四六、八一九	四七、九七二	二九四、七九一	二、一〇九	一・〇〇
國道十五號線（奈良）改良工事（時匡）	大阪	一〇〇、〇〇〇		八四〇、二八	七四〇、二八	二六、九七二	〇・七二
國道十五號線（和歌山）改良工事（八時匡）	大阪	一二四、〇〇〇		三三、一五七	一二〇、九三四	三、〇六六	一・〇〇
國道十五號線（和歌山）改良工事（時匡）	大阪	五〇、〇〇〇	八七、六七七	五三、五六〇	五三、五六〇	三、五六〇	△ 一・〇〇
國道十六號線（和歌山）改良工事（八時匡）	大阪	一七六、〇〇〇	一二八、〇七九	一〇七、五四一	一七三、七八〇	二、二一〇	一・〇〇
國道十六號線（和歌山）改良工事（時匡）	大阪	二〇〇、〇〇〇		一九、九五五	一九、九五五	一八〇、〇四五	〇・一〇
國道十六號線（大阪）改良工事（八時匡）	大阪	一、三一〇、〇〇〇	九五〇、三三四	三五〇、五一八 一〇五	一、三〇〇、八五二 一〇五	九、一四八	△ 一・〇〇
國道十六號線（大阪）改良工事（時匡）	大阪	二〇〇、〇〇〇		一五、一四六	一五、一四六	一四八、五三三	〇・七六
國道十八號線（京都）改良工事（八時匡）	大阪	六三九、〇〇〇	六二、八〇六	九、〇二	六三〇、八〇八	八、一三	一・〇〇
國道十八號線（京都）改良工事（時匡）	大阪	二一〇、〇〇〇		二〇八、一五三	二〇八、一五三	一、八四七	〇・九九
國道十九號線（島根）改良工事（八時匡）	大阪	三五〇、〇〇〇	一四〇、〇四二	二一、九二八	三五九、九七〇	三、四〇	一・〇〇
國道二十二號線（香川）改良工事（時匡）	神戸	二〇〇、〇〇〇		一七、一六八	一七、一六八	一八二、三三二	〇・八六
國道二十五號線（佐賀）改良工事（八時匡）	下關	二五五、〇〇〇	◎ 一一三、三八三	◎ 五一、六二一	◎ 一六五、〇〇四	八九、九九六	〇・六五
國道二十五號線（佐賀）改良工事（時匡）	下關	一五〇、〇〇〇	◎ 一一、七一二	◎ 一三、八四一	◎ 二五、五五三	一二四、四四七	一・〇〇
國道二十五號線（長崎）改良工事（八時匡）	下關	四〇〇、〇〇〇	◎ 二六一、三〇八	◎ 一三、七九二	◎ 二七五、一〇〇	一二四、九〇〇	一・〇〇
國道二十二號線（廣島）改良工事（八時匡）	大阪	五〇〇、〇〇〇	三六、一四二		三六、一四二	四六三、八五八	〇・〇七
國道二十二號線（廣島）改良工事（時匡）	大阪	三〇〇、〇〇〇				三〇〇、〇〇〇	〇・〇〇

事									
國道三號線（長崎改良工事（時匡）	下關	一〇〇、〇〇〇	◎	◎	一七九、四二〇 四五、一五八	◎	一七九、四二〇 四五、一五八	一〇、五六〇	〇・六一
小計（九七）	八	三、九九、五〇〇	二、二七、七三二	八、六四、六五		一〇、七八、三九		二、二八、一〇三	〇・六〇
總計（一八五）	八	四七、〇八六、三三	三〇〇、八一六、四〇六	三四、九五、一二六		三三五、七六、七二		一四、三二、四一	〇・六九

第六竣功工事

直轄河川ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和八年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ列記スレバ左表ノ如シ

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修工事					
筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年度	明治三十六年度	一、四八四、〇〇〇円	一、四八六、〇三四円
淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同　二十九年度	同　四十三年度	一〇、〇九四、〇〇〇	一〇、〇六二、二三
木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	同　二十年度	大正　元年度	九、四五六、三五二	九、四五六、三五二
庄川改修工事	富山	同　三十三年度	同　元年度	二、九六二、四三一	二、九六二、四三九
遠賀川改修工事	福岡	同　三十九年度	同　七年度	四、八三一、〇〇〇	四、八一五、四五五
淀川下流改修工事	大阪	同　四十年度	同　十一年度	三、三五五、〇〇〇	三、七三六、五八六
九頭龍川改修工事	福井	同　三十三年度	同　十三年度	五、五五〇、四〇一	五、五四五、一五一
渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木	同　四十三年度	昭和　元年度	一一、四〇〇、〇〇〇	一一、三七〇、三三三
信濃川改修工事	埼玉	同　四十年度	同　二年度	二三、五五一、六四〇	二三、五三六、二六
吉野川改修工事	新潟	同　四十年度	同　二年度	二一、〇一六、八五	二一、九一、三八五
	徳島	同　四十年度	同　二年度		

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修工事					
高梁川改修工事	岡山	明治四十年度	昭和二年度	七、九二六、〇八七円	七、八二九、一〇六円
利根川改修工事	東京、埼玉、千葉	同三十三年度	同五年度	六五、四〇三、一一七	六三、三九八、四〇六
荒川下流改修工事	茨城、栃木、群馬	同四十四年度	同五年度	三一、三四四、〇〇〇	三一、三四二、一四六
淀川改修増補工事	東京、埼玉	大正七年度	同七年度	一四、五一七、八五一	一四、二九七、一五五
阿賀野川改修工事	大阪、京都	同四年度	同八年度	一一、八八七、一二〇	一一、八八七、一二九
多摩川改修工事	新潟	同七年度	同八年度	七、四一四、七八九	七、二〇一、〇一一
小	東京、神奈川				
計（一六）		—	—	三二、九三三、三一一	三一〇、七三三、三八
砂防工事					
吉野川流域砂防工事	徳島	大正四年度	大正九年度	一五〇、〇〇〇円	一四一、二五八円
野洲川流域砂防工事	滋賀	同四年度	同十三年度	六〇、〇〇〇	五九、八三三
神通川流域砂防工事	岐阜	同八年度	昭和五年度	二七六、八三八	二七六、五二六
桂川流域砂防工事	京都	同五年度	同六年度	九五、一〇〇	九四、九六三
小					
計（四）		—	—	五八一、九三八	五五一、九五〇
港灣改良					
敦賀港修築工事	福井	明治四十二年度	大正二年度	八〇〇、〇〇〇	七三三、一一〇
新潟港修築工事	新潟	大正六年度	同十四年度	二、三四一、九〇一	二、三三六、九〇一
長崎港修築工事	長崎	同九年度	昭和二年度	一、四九〇、〇〇〇	一、四五三、七六八
高松港修築工事	香川	同十一年度	同三年度	二、一〇〇、〇〇〇	二、一九八、八八四
下關港修築工事	山口	同十年度	同四年度	三、四四一、〇〇〇	三、一三一、一三〇
門司港修築工事	福岡	同八年度	同六年度	五、八二〇、〇〇〇	五、七五六、六八三
境港修築工事	鳥取	同十一年度	同六年度	一、九二五、七一四	一、九二四、八四〇

工事								
鹽釜港修築工事	宮城	同	同	同	同	同	五、〇八七、六八一	五、〇八七、六八一
敦賀港修築工事	福井	同	同	同	同	同	三、四三二、六四三	三、四三二、六四三
今治港修築工事	愛媛	同	同	同	同	同	二、九二一、九二九	二、九二一、九二九
小計（一〇）							三〇、六二一、三三四	二六、九五九、七九一
總計（三〇）							二五一、八三六、五八三	二五一、三五五、七四九